

〈支援企業を訪問しました〉

## 東成工業株式会社 殿

「5Sの徹底で、従業員の意識が変わり、品質が向上！」

東成工業株式会社（安藤一社長 鴻巣市）は、昭和53年10月に上尾市で金属塗装業として創業しました。その後、金属塗装から環境負荷のより小さい樹脂塗装への転換を図り、現在では自動車用内外装樹脂部品の塗装がほぼ100%を占めています。平成12年には業務拡大の為、鴻巣市へ移転し鴻巣工場の操業を開始しました。さらに同17年には自動化ラインを備えた行田工場が操業開始するなど自動車産業と歩調を合わせて、順調に発展してきました。塗装品質に対する自動車メーカーの要求は年々レベルアップしていますが、同社では技術を磨いて対応し、平成17年にはISO 9001の認証を取得しましたし、納入先からも高く評価されています。

しかし、平成20年のリーマンショックと昨年の大震災により、これまで順調であった業績は大きな影響を受け、売上は急減、収益も大幅に悪化しました。そこで安藤社長は、生産品質と生産性の向上は当社にとって最優先の課題であると考えました。これらの課題には、これまでも社内で行ってききましたが、一段の飛躍を図るには専門家の力が必要と判断し、上尾商工会議所に相談したところ、現場改善の経験が豊富なアブセックの田村耕一さんを紹介されました。



安藤社長（右）と田村さん



掲示物やサンプルもスッキリ

田村さんは安藤社長と相談して、最初に5Sの徹底から始めました。塗装にとって大敵である塵・埃の工場内への侵入を防止するためにドアの開閉や通路のルールを明確にし、工場内や設備などの清掃の徹底を指導しました。また、掲示物の場所やサンプル部品、工具などの置き場所を決め、素早く間違いなく作業できるようにしました。さらに、全従業員を対象にして「報・連・相」の大切さとその方法について講義を行い、社内のコミュニケーション改善を図りました。また、安藤社長は班別の「歩留まり報告会議」を発足させました。これは毎朝、

前日の問題点を班員で共有し、不良低減と結び付けて目標を設定し、班を挙げて実際の改善に取り組むものです。このような取組の結果、不良の発生は1/3にまで低減されただけでなく、品質や作業性に関して作業員から種々の提案がされるように職場の雰囲気も変化しつつあります。

「品質が良くなったことはもちろんですが、最も嬉しいのは従業員の意識が高まってきて、自発的に改善に取り組んでくれていることです。今後はこの活動を加速して、一層強い体質に変えていくためにも引き続き田村さんにご指導をお願いしたいと考えています。」と安藤社長は思いを語ってくれました。

（武藤 記）

上尾商工会議所は、桶川市商工会・伊奈町商工会・北本市商工会・鴻巣市商工会 と連携して  
県の中小企業支援事業であるエキスパートサポート事業に取り組んでいます。



ご意見・お問い合わせはこちらまで

上尾商工会議所 桶川市商工会 伊奈町商工会 北本市商工会 鴻巣市商工会  
アブセック事務局 TEL 048-773-2391 E-mail [abcec@ageocci.or.jp](mailto:abcec@ageocci.or.jp)